

2020年12月期第4四半期決算説明会 質疑応答

(回答者：西森社長)

【CRO 事業について】

Q：第4四半期の会計期間を切り出すと前年同期比でみて減収が続いているものの、黒字転換を実現しているが、その理由と継続性について説明してほしい。

A：営業利益の回復は、いくつか大型案件が取れてきているためである。継続性については、元々CRO事業の案件は足が長い（契約期間が長い）特徴がある。また受注確度の高い案件がいくつかあるので、それが契約できればこれも継続していけると考えている。

Q：2021年度の目標数値に対する確信度はどうか？

A：去年は構造改革を実施しており、販管費が3割、7億円ほど改善しているため収益率は高くなっている。これが今年1年継続できれば構造改革のメリットが取れるし、受注環境が良くなってきていることと組み合えば数値は達成できていると思っている。

【今後の経営計画について】

Q：今年が中期経営計画の最終年度とのことだが、2022年度以降の業績はどのようなイメージを持っているのか？

A：グループの課題として、CRO事業と共に海外IT事業の業績回復があるが、インド市場の回復にもよるが、きちんと課題解決をすることで収益率を上げる。加えて、国内ITについては、受注環境はコロナの影響を当社はあまり受けていないので業績は悪くない、このままきちんと体制を組めれば売上高、利益率ともあげられると思っている。今まで通りデジタルソリューションにも注力していく。詳しくは次の中期経営戦略に練りこんで発表を予定している。